

政府は、昨年12月に『SDGsアクションプラン2020』を策定し、「日本のSDGsモデル」の更なる展開に向け取組を推進している。内閣府では、その柱の1つに掲げる「SDGsを原動力とした地方創生の実現」に向け、地方公共団体におけるSDGs達成に向けた取組(自治体SDGs)の先駆的モデル創出を目指し、2018年から「SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業」を選定している。

また、2008年から環境問題に先進的に取り組む「環境モデル都市」、2011年から環境問題・超高齢化対応等の社会的な課題解決に向け取り組む「環境未来都市」の取組は、自治体SDGsに資するものである。

本ステージイベントでは、有識者によるコーディネートのもと、選定都市における先進事例の紹介により、これら取組の普及展開や新たな取組のきっかけになることを目指す。

藤野 純一氏
公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES) 上席研究員

コーディネーター



東京大学大学院(電気工学)博士課程で世界のエネルギー・システム分析(SDG7)を行い、2000年に国立環境研究所入所。低炭素社会研究に従事し日本の温暖化排出量削減目標値議論に参画(SDG13)。2010年秋から環境未来都市の委員等を通じて都市の取り組みにかかわる(SDG11)。アジアの都市の低炭素化を支援中(SDG17)。2019年から地球環境戦略研究機関(IGES)専任。

【地方創生SDGs官民連携プラットフォームについて】

内閣府では、SDGsへの取組を通じて、より一層の地方創生につなげることを目的に、地方自治体・地域経済に新たな付加価値を生み出す企業・専門性をもったNGO・NPO・大学・研究機関など、広範なステークホルダーとのパートナーシップを深める官民連携の場として、地方創生SDGs官民連携プラットフォームを設置しています。

プラットフォームの取組内容

1.マッチング支援
会員データベースの活用
マッチングシートによる
自治体と企業による個別
マッチングをサポート

2.分科会開催
会員提案による分科会
設置課題解決に向けた
プロジェクトの創出等

3.普及促進活動
国際フォーラム開催、
HPやメーリングリスト
での情報発信、プラット
フォーム後援名義等



【地方創生SDGs冊子及び動画について】

地方公共団体におけるSDGsの達成に向けた取組の普及・促進に向け、内閣府が推進している「地方創生に向けた自治体SDGs」に関する動画と冊子を作成いたしました。様々な場でぜひ御活用ください。

冊子

『地方創生に向けたSDGsの推進について』

・SDGsを巡る国内外の動向
・SDGs未来都市・自治体
SDGsモデル事業 など



動画

『よくわかる地方創生SDGs』
・SDGs未来都市
・地方創生SDGs官民連携
プラットフォーム
・地方創生SDGs金融 など



【地方創生SDGs金融調査・研究会について】

地方創生に向けた地域課題等の解決に資するビジネスに一層の民間資金が充当され、地域経済の活性化を含む持続可能なまちづくりを実現することを目的に、有識者により「地方創生SDGs金融」のあり方等について調査・検討を行い、2019年11月に報告書を取りまとめました。

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/sdgs_kinyu2.html

■資料のダウンロードについて

公開の許可をいただいた講師の講演資料および、
ステージイベント参加都市の発表資料は、
下記サイト内「国際フォーラム・イベント情報」より
ダウンロードいただけます。

<http://future-city.go.jp/sdgs-event/>



■アーカイブのご案内

本フォーラムの模様は、日本経済新聞社の映像コンテンツポータルサイト「NIKKEI CHANNEL」にてアーカイブ配信(録画)を行います(視聴無料)。

<NIKKEI CHANNEL>

<https://channel.nikkei.co.jp/e/20200110chihousdgs>

※日本語音声のみ



フリーWiFiのご案内

日経ホールではFree-WiFi
をご利用いただけます。

SSID:NikkeiSDGsforum

P W: nikkeihall0110
(全て小文字)

【お問い合わせ】

内閣府地方創生推進室

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-39 永田町合同庁舎7階

TEL. 03-5510-2175

E-mail. g.Local-governments-SDGs@ao.go.jp

地方創生SDGs国際フォーラム 2020

地方創生の一層の推進に向けて ～自律的好循環形成に向けた官民連携～

本フォーラムでは、SDGsを共通言語とした地方創生の推進にあたって、政府、地方公共団体及び民間団体等の様々なステークホルダーがこれまで行ってきた取組について、事例の共有や、今後の方向性についての考察を行います。また、SDGs達成への取組を通じて、地域における資金の還流や再投資を促し、「自律的好循環」を形成するため、それぞれのステークホルダーが持つ役割や課題等について議論を行い、国内外への展開につなげること狙いとしています。

◆日程: 2020年1月10日(金) 10:00～17:00

◆場所: 日経ホール

東京都千代田区大手町1-3-7日経ビル

主催: 内閣府、地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

後援: 日本経済新聞社

プログラム

※講習内容・パネリスト・タイムスケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

10:00 ～ 10:20	主催者挨拶	北村 誠吾氏 内閣府特命担当大臣(地方創生、規制改革) まち・ひと・しごと創生担当 北橋 健治氏 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会長 (北九州市長)
10:20 ～ 10:40	基調講演	村上 周三氏 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長 牧野 百男氏 鯖江市長
10:50 ～ 12:20	セッションⅠ 「地方創生SDGsの一層の推進～第2期まち・ひと・しごと創生に向けて～」	コーディネーター 遠藤 健太郎氏 内閣府 地方創生推進事務局 参事官 パネリスト 品川 萬里氏 郡山市長 マハディ・チェンガーハー氏 クアラルンプール市 市長顧問(都市計画担当) オマール・シディーク氏 国連アジア太平洋経済社会委員会(UN ESCAP) 環境開発局 持続可能な都市開発部 経済担当官 ステファノ・マルタ氏 経済協力開発機構(OECD) 持続可能な開発目標(SDGs)への地域的アプローチ コーディネーター
12:20 ～ 14:00	昼休憩	
14:00 ～ 15:30	セッションⅡ 「地方創生SDGs金融の推進～金融フレームワークによる自律的好循環の形成～」	コーディネーター 村上 周三氏 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長 パネリスト 太田 寛氏 長野県副知事 湯本 昭一氏 株式会社八十二銀行 取締役頭取 ロイック・ジャーディン氏 サステナビリティクス・ジャパン株式会社 マネージング・ディレクター 小野塚 恵美氏 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 運用本部スチュワードシップ責任推進部長
15:35 ～ 15:45	総括	村上 周三氏 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長
15:50 ～ 17:00	ステージイベント 各都市事例紹介～SDGs未来都市・環境モデル都市・環境未来都市～	コーディネーター 藤野 純一氏 公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES) 上席研究員

主催者挨拶

10:00~10:20

北村 誠吾氏
内閣府特命担当大臣(地方創生、規制改革) まち・ひと・しごと創生担当



長崎県出身。1970年早稲田大学政治経済学部卒。83年長崎県佐世保市議会議員(1期)、87年長崎県議会議員(4期)、2000年衆議院議員(7期)、04年防衛庁長官政務官、06年自由民主党水産部会長、08年防衛副大臣、10年衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員長、12年自由民主党国土交通部会長、14年衆議院安全保障委員会委員長、18年自由民主党総務会副会長、19年内閣府特命担当大臣(地方創生、規制改革) / まち・ひと・しごと創生担当(現任)。

北橋 健治氏
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会長(北九州市長)



1953年 3月 19日生
1978年 3月 東京大学法学院 卒業
1986年 7月 衆議院議員 初当選
1994年 4月 大蔵政務次官
1996年 12月 運輸委員会 筆頭理事
1998年 8月 衆議院環境委員長
1999年 11月 大蔵委員会 筆頭理事
2005年 11月 地方制度調査会 委員
2006年 3月 行政改革特別委員会 筆頭理事
2007年 2月 20日 北九州市長
2011年 2月 20日 北九州市長(2期目)
2015年 2月 20日 北九州市長(3期目)
2019年 2月 20日 北九州市長(4期目)

基調講演

10:20~10:40

「地方創生SDGsの取組動向」

村上 周三氏
一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長



1942年 愛媛県生まれ
1985年 - 2001年 東京大学生産技術研究所 教授
1999年 - 1999年 テンマーク工科大学 客員教授
2001年 - 2008年 慶應義塾大学 理工学部 教授
2003年 東京大学 名誉教授
2003年 建築環境・省エネルギー機構 理事長(現職)
2005年 - 2007年 日本建築学会 会長
2008年 - 2012年 建築研究所 理事長
2010年 環境未来都市 構想有識者検討委員会(内閣府)等 座長
2015年 - 2019年 新国立競技場整備事業の技術提案等 審査委員会 委員長
2018年 自治体SDGs推進評価・調査検討会(内閣府) 座長

「SDGs未来都市『世界のめがねの聖地 SABAE』を目指して」

牧野 百男氏
鰐江市長



1941年生まれ、福井県鰐江市出身。
福井県総務部長、福井県小浜市副市長、福井県議会議員を経て、2004年より現職。
大学のないまちでの「学生連携によるまちづくり」、市民が主役の「市民参加と協働によるまちづくり」、市民との情報共有による「オープンデータによるITのまちづくり」を推進。「地方から国を変える」高い志と強い意気込みで、「河和田アートキャンプ」、「地域活性化プランコンテスト」、「鰐江市役所JK課」、「オープンデータ」など、全国に先駆けてさまざまな事業に挑戦し続けている。現在、日本で唯一の産地である「めがねのまちさばえ」を国内外に向けて発信し、地域全体のブランドイメージの向上に取り組んでいる。

セッション I 「地方創生SDGsの一層の推進 ~第2期まち・ひと・しごと創生に向けて~」

10:50~12:20

「地方創生」という政府が掲げる政策の本格的な取り組みが開始され、5年が経過しようとしている。昨年12月に策定された第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、地方創生の新たな展開と飛躍に向けて「新しい時代の流れを力にする」ことを横断的な目標とし、地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくりを推進することが示された。SDGsを原動力とした地方創生の推進に向けて、地方公共団体のみならず、民間企業や金融機関などの多様なステークホルダーが連携して取組を推進していくことがますます重要となっている。本セッションでは、国内外における地方公共団体SDGsの先進的な事例を概観し、地方公共団体がSDGsの達成に向けて取り組む重要性、国内外のモデル事例の特徴や有意性について議論する。また、今後、地方公共団体におけるSDGsを軸とした地方創生の更なる深化に向けて、今後取り組むべき課題等について意見交換を行う。こうした議論を通して、日本のSDGsの取組が自治体のみならず民間企業にも普及し、地方創生SDGsの取組がさらに推進され、日本のSDGsモデルが国際的に広く共有されることが期待される。

品川 萬里氏
郡山市長

パネリスト



1944年 12月 19日生まれ
1967年 3月 東京大学法学院卒業
1967年 4月 郵政省入省
1993年 7月 東北電力政局長
1996年 7月 貯金局長
1997年 7月 放送行政局長
1999年 7月 郵政審議官(国際担当)
2000年 6月 大阪大学客員教授
2003年 6月 (株)NTTデータ代表取締役副社長
2005年 7月 法政大学IT研究センター学術担当教授
2009年 9月 法政大学教授
2013年 4月 郡山市長(1期目)
2017年 4月 郡山市長(2期目)

マハディ・チエ・ンガー氏
クアラルンプール市 市長顧問(都市計画担当)

パネリスト



現在、クアラルンプール市(KLCH)市長の計画担当顧問を務め、KLCH新規開発計画の立案にかかる市長への助言を主な任務とする。また、KLCHスマートシティ計画、KLCH低炭素社会計画2030の検討も行う。前職では、KLCHエグゼクティブディレクター(計画担当、2018~2019年)、エグゼクティブディレクター(プロジェクトおよび実施担当、2017~2018年)、連邦直轄領省下カンボンバル開発公社の最高経営責任者(2015~2017年)、KLCH都市計画部長(2004~2014年)を歴任。マレーシア都市計画研究所(MPI)法人会員。マレーシア工科大学(都市計画)学士、英國・ストラスクライド大学(都市計画)修士。

遠藤 健太郎氏
内閣府地方創生推進事務局 参事官

コーディネーター



東京工業大学大学院修士修了
ハーバード大学ケネディ行政大学院修士修了(行政管理学修士)
1990年 通商産業省(現・経済産業省)入省
2006年 経済産業省産業技術環境局京都メカニズム推進室長(兼)地球環境技術室長
2007年 経済産業省資源エネルギー庁新エネルギー等電気利用推進室長(兼)燃料電池推進室長
2011年 経済産業省製造産業局製鉄企画室長
2013年 経済産業省関東経済産業局資源エネルギー環境部長
2015年 復興庁参事官
2017年 - 内閣府地方創生推進事務局参事官(現職)

オマール・シディーク氏
国連アジア太平洋経済社会委員会(UN ESCAP)環境開発局 持続可能な都市開発部 経済担当官

アジア太平洋およびアフリカ地域を中心とした都市開発プログラムの管理を行う。都市計画と開発の専門家。主な専門分野は、スマート改善戦略、都市貧困評価、地方自治体財務戦略、都市全域のサービス提供プロファイリング、地域の気候変動緩和適応計画、非公式の生計向上促進のための参加型計画、プログラム管理、およびより良い都市ガバナンスのための体制強化である。2017年10月にUN-ESCAPの持続可能な都市開発官として加わり、現在は、第3回国連人間居住会議以降のUN-ESCAPの地域別フォローアップおよびレビューを調整し、持続可能な開発目標のローカライズに関する国々を支援している。UN-ESCAPの前は、ベルギー・ブリュッセルの都市同盟事務局で上級都市専門家として4年間勤務した。アフリカ、中東・北アフリカ、アジア、ラテンアメリカの12か国以上で、国内スマート改善、地方自治体財務、都市管理技術支援プログラムの設計と実施などを担当した。都市同盟事務局以前は、国連開発計画のスリランカ、タイ、ニューヨークの拠点で4年間勤務した。アメリカのニューヨーク大学とオーストラリア・メルボルンのモナシ大学で、政治学と地理学の上級学位を取得している。

太田 寛氏
長野県副知事

パネリスト



1956年 9月生まれ
1979年 3月 京都大学法学院卒業
4月 長野県入庁
2004年 5月 生活環境部長
2005年 11月 企画局長
2006年 11月 木曽地方事務所長
2009年 4月 参事 兼 建設政策課長
2011年 4月 商工労働部長
2014年 4月 総務部長
2015年 2月 長野県副知事 就任
2019年 2月 長野県副知事 再任

湯本 昭一氏
株式会社八十二銀行 取締役頭取

パネリスト



1980年 3月 東京大学経済学部卒業
1980年 4月 八十二銀行 入行
2000年 6月 同 中野西支店長
2002年 6月 同 下諏訪支店長
2004年 6月 同 名古屋支店長
2006年 6月 同 金融市場部長
2008年 6月 同 執行役員金融市場部長
2009年 6月 同 常務執行役員本店営業部長
2011年 6月 同 常務取締役
2013年 6月 同 取締役頭取(現職)

兼職
2013年 7月 一般社団法人長野県銀行協会 会長

セッション II 「地方創生SDGs金融の推進~金融フレームワークによる自律的循環の形成~」

14:00~15:30

地方創生SDGsの達成に向けては、SDGsという共通言語の下、多様なステークホルダーが連携し、地域の経済・社会・環境に係る諸課題に取り組むことが重要である。こうした取組は、地域経済の維持や活性化に大きく貢献すると同時に、地域の人口減少や地域経済縮小の負のスパイラルに歯止めをかけ、地域課題の解決を推進することが可能である。

今日では、金融機関や機関投資家がファイナンス等を通じて、経済・社会・環境に与える影響の大きさを認識し、諸課題の解決に貢献することの必要性が広く認識され、投融資等の判断にあたってはESG要素や、非財務情報を考慮する動きも拡大している。

こうした状況の中、地方創生SDGsの達成に向けては、地域の課題解決等を通じて様々なステークホルダーが連携し、民間資金が地域社会に供給される、資金の還流と再投資による「自律的循環」の形成が重要であることから、内閣府では地方創生SDGs金融フレームワークの構築に向けた取組を推進している。

本セッションでは、地方公共団体及び地域金融機関に加え、ファイナンス等を通じて取組を支援する機関投資家等を招き、SDGs達成に向けた官民連携の事例等の共有や、自律的循環の形成に向けたそれぞれの役割や課題等についての議論を行う。また、そのうえで政府の提示する地方創生SDGs金融に関する各取組の方向性や効果的な方策等について議論し、今後の課題等について考察する。

村上 周三氏
一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長

コーディネーター



ロイック・ジャーディン氏
サステナリティクス・ジャパン株式会社 マネージング・ディレクター

過去6年間にわたって日本とシンガポール両国のさまざまな資産運用会社や年金機構と連携し、こうした組織の投資判断における環境・社会・ガバナンス(ESG)の統合を支援してきた。サステナリティクスの手がける投資リサーチ全般に対する信頼が増し続けているのは、同社のアジア太平洋地区リサーチチームを率いるジャーディンの手腕によるところが大きい。ノルウェー銀行投資マネジメント部門(NBIM)ならびに資産運用会社Amundi(アムンディ)でシニアアナリストを務めた経験をもち、アジアの投資家たちにとって最大の関心事であるESG問題への造詣が深い。また水害リスク管理の専門家として、中国やインドの企業、公共事業、食品関連企業と協力しながらこの問題に取り組み、多くの成果を上げている。Sustainalyticsを代表して数々の会議に臨み、ESGやサステナブルな財政のしくみに関する多様なトピックを紹介し続けている。英国スコットランドのグラスゴー大学にて経済学士号を取得後、仏パリ第1大学(パンテオ・ソルボンヌ)にて国際経済学修士号を取得。

小野塚 恵美氏
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
運用本部スチュワードシップ責任推進部長

パネリスト



2000年ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社入社。営業部、運用部、業務部において多岐にわたる資産運用関連業務を経験後、アジア・パシフィックの運用部チーフ・オペレーティング・オフィサーに就任。2016年9月より、運用本部 スチュワードシップ責任推進部長としてESG(環境・社会・ガバナンス)リサーチ、企業との対話に従事。GSAM入社以前は、JPモルガン銀行に2年間在籍。1997年上智大学比較文化学部卒。

Stage Event
Presentation -SDGs FutureCity/Eco-Model City/FutureCity

15:50~17:00

The government formulated the SDGs Action Plan 2020 in December last year, and is promoting initiatives towards the further development of Japan's SDGs model. With a view to the realization of regional revitalization with SDGs as the driving force, established as one of the pillars in the Action Plan, the Cabinet Office has been selecting SDGs FutureCity and Local Government SDGs Model Projects since 2018 with the aim of constructing pioneering models of initiatives by local governments towards achieving the SDGs (Local Government SDGs). Furthermore, the Eco-Model City initiative launched from 2008 for cities implementing advanced efforts to address environment issues, and the FutureCity initiative launched from 2011 for cities implementing initiatives towards resolving social issues such as environmental issues and coping with extreme population aging, also contribute to the Local Government SDGs. This Stage Event, coordinated by experts, aims to provide an opportunity for the development and roll-out of these initiatives, as well as the creation of new initiatives, through the introduction of leading examples in the selected cities.

Junichi Fujino
Principal Researcher, Institute for Global Environmental Strategies (IGES)



Conducted research on analysis of global energy systems (SDG 7) during his doctorate with the University of Tokyo (Electrical Engineering), then joined the National Institute for Environmental Studies in 2000. Engaged in the discussion on the target for greenhouse gas emission reductions as a result of his research on low-carbon societies (SDG 13). Fujino has been engaged in action on cities since late 2010 as an advisory member of the FutureCity initiatives, among others (SDG 11). He is currently supporting decarbonization projects in Asian cities (SDG 17) and fully joined the Institute for Global Environmental Strategies (IGES) in 2019.

[SDGs for Regional Revitalization Public-Private Partnership Platform]

The Cabinet Office established the SDGs for Regional Revitalization Public-Private Partnership Platform as a way to promote the implementation of SDGs in Japan and create deeper connections between these initiatives and regional revitalization. The platform acts as a place where businesses that create new value for local governments and regional economies, specialized groups such as NGOs, NPOs, universities, research institutes, and other diverse stakeholders, can come together. It thus helps deepen public-private partnerships.

Content of Platform Actions

- | | | |
|--|---|--|
| 1. Matching Support | 2. Sub-Working Group | 3. Promotion Initiatives |
| A matching sheet that utilizes platform's membership database is used to help match up local governments and private businesses. | A sub-working group has been formed in response to members' requests. The group works towards creating projects designed to resolve issues. | Includes holding international forums, communicating information on the platform's website and mailing lists, and nominal support of the platform etc. |



Scan here to join forum →
[Free to Join!!](#)

<http://future-city.go.jp/platform/>

[Regional Revitalization SDGs Brochure and Video]

A brochure and video have been produced relating to "SDGs for Regional Revitalization". These efforts are being promoted by the Cabinet Office as a way of promoting the spread of actions being performed by local governments to achieve SDGs. We hope you'll make use of these materials.

Brochure:

"Promoting SDGs for Regional Revitalization"

- Domestic/international SDG trends
- SDGs FutureCity/Local Governments SDGs Model Projects etc.



Video:

- "Easy to Understand SDGs"
- SDGs FutureCity
 - SDGs for Regional Revitalization Public-Private Partnership Platform
 - SDGs for Regional Revitalization Finance etc.



Scan here to download the video and brochure →
<http://future-city.go.jp/sdgs/>

[SDGs for Regional Revitalization Financial Survey and Research Panel]

An expert-led survey, and examination on the state of "SDGs for Regional Revitalization Finance" was performed to provide more private funding for businesses that contribute to the resolution of local issues through regional revitalization. It also had the goal of realizing sustainable city building that helps to vitalize local economies. The panel compiled its findings into a report published in November 2019.

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/sdgs_kinyu2.html

■ Presentation materials (speakers and participated cities of "Stage Event") can be downloaded from "International Forum" page of the following website.

<http://future-city.go.jp/sdgs-event/>



■ About video streaming of the Forum

We will broadcast the forum on "NIKKEI CHANNEL", Nikkei's video content portal site after the forum (free of charge).

<NIKKEI CHANNEL>

<https://channel.nikkei.co.jp/e/20200110chihousdgs>

※Japanese language only



FREE WiFi

Free-WiFi is available at Nikkei Hall.

SSID:NikkeiSDGsforum

P W: nikkeihall0110

[Information/Inquiries]

Office for Promotion of Overcoming Population Decline and Vitalizing Local Economy in Japan
[TEL] +81-3-5510-2175 [E-mail] g.Local-governments-SDGs@cao.go.jp



International Forum on SDGs for Regional Revitalization 2020

Towards the Further Promotion of the SDGs for Regional Revitalization

-Considering the State of Public-Private Partnerships to Promote Autonomous Virtuous Cycles-

This Forum seeks to share examples of initiatives implemented to date by various stakeholders such as the government, local governments, and private-sector organizations, in promoting regional revitalization with the SDGs as a common language, and to consider the future direction of such initiatives. Furthermore, it also aims to contribute to developments in and outside Japan through discussions on the roles and challenges of the respective stakeholders in the creation of "Autonomous Virtuous Cycles" consisting of the circulation and reinvestment of funds in the regions, through initiatives aimed at achieving the SDGs.

Date/Time: Friday, January 10, 2020, 10:00 - 17:00

Organizers: Cabinet Office, SDGs for Regional Revitalization Public-Private Partnership Platform

Venue: Nikkei Hall
(Nikkei Building, 1-3-7 Otemachi, Chiyoda, Tokyo)

Supported by: Nikkei Inc.

*Honorifics and titles omitted, in no particular order.
*Please be advised that agenda, speakers, time schedule may be subject to change.

Program

10:00 ~ 10:20	Opening Remarks	
	Seigo Kitamura Minister of State for Regional Revitalization, Minister of State for Regulatory Reform, Minister in charge of Regional Revitalization	Kenji Kitahashi Chairman, SDGs for Regional Revitalization Public-Private Partnership Platform (Mayor, City of Kitakyushu)
10:20 ~ 10:40	Keynote Lecture	Shuzo Murakami President, Institute for Building Environment and Energy Conservation (IBEC) Hyakuo Makino Mayor of Sabae City
10:50 ~ 12:20	Session I "Further Promotion of the SDGs for Regional Revitalization -Second stage: Towards Revitalizing Cities, People, and Careers"	Kentaro Endo Councillor, Office for Promotion of Overcoming Population Decline and Vitalizing Local Economy in Japan, Cabinet Office, Government of Japan Masato Shinagawa Mayor of Koriyama City, Fukushima Prefecture Mahadi Che Ngah Advisor for Planning to Mayor of Kuala Lumpur City Hall Omar Siddique Economic Affairs Officer, Sustainable Urban Development Section, Environment and Development Division, UN ESCAP Stefano Marta Coordinator, Territorial Approach to SDGs, OECD
12:20 ~ 14:00	Lunch Break	
14:00 ~ 15:30	Session II "Promoting SDGs for Regional Revitalization Finance – Creating Autonomous Virtuous Cycles Through a Financial Framework"	Shuzo Murakami President, Institute for Building Environment and Energy Conservation (IBEC) Yutaka Ota Vice-governor of Nagano Prefecture Shoichi Yumoto President, The Hachijuni Bank Loic Dujardin Managing Director, Japan, Sustainalytics Emi Onozuka Head of Stewardship Responsibility Group, Japan, Goldman Sachs Asset Management
15:35 ~ 15:45	General Overview	Shuzo Murakami President, Institute for Building Environment and Energy Conservation (IBEC)
15:50 ~ 17:00	Stage Event: Presentation -SDGs FutureCity/Eco-Model City/FutureCity	Junichi Fujino Principal Researcher, Institute for Global Environmental Strategies (IGES)

Opening Remarks

10:00~10:20

Seigo Kitamura

Minister of State for Regional Revitalization, Minister of State for Regulatory Reform
Minister in charge of Regional Revitalization

Born in Nagasaki Prefecture, Kitamura graduated from School of Political Science and Economics, Waseda University, in 1970. He became a member of the Sasebo City Council, Nagasaki Prefecture, in 1983 (one term); a member of the Nagasaki Prefectural Assembly in 1987 (four terms); a member of the House of Representatives in 2000 (seven terms); Parliamentary Secretary, Defense Agency, in 2004; Director of the Fisheries Division, the Liberal Democratic Party, in 2006; Senior Vice Minister of Defense in 2008; Chairperson of the Special Committee on Okinawa and Northern part issues, the House of Representatives, in 2010; Director of the Land, Infrastructure and Transport Division, the Liberal Democratic Party, in 2012; Chairperson of the Standing Committee on Security, the House of Representatives, in 2014; and Deputy Chairperson of General Council, the Liberal Democratic Party, in 2018. He was appointed as the Minister of State for Regional Revitalization, Minister of State for Regulatory Reform, and Minister in charge of Regional Revitalization in 2019 (incumbent).

Kenji Kitahashi

Chairman, SDGs for Regional Revitalization Public-Private Partnership Platform
(Mayor, City of Kitakyushu)

Date of Birth: March 19, 1953
Education: B.A. Tokyo University, Department of Law, 1978
Jul. 1986 First elected as a House of Representatives member
Apr. 1994 Parliamentary Vice Minister of Finance
Dec. 1996 Senior Director of Committee on Transportation
Aug. 1998 Chairperson of the House of Representatives Committee on Environment
Nov. 1999 Senior Director of Finance Committee
Nov. 2005 Local Government System Research Council member
Mar. 2006 Senior Director of the Special Committee on Administrative Reform
Feb. 20, 2007 Mayor, City of Kitakyushu
Feb. 20, 2011 Mayor, City of Kitakyushu (2nd Term as Mayor)
Feb. 20, 2015 Mayor, City of Kitakyushu (3rd Term as Mayor)
Feb. 20, 2019 Mayor, City of Kitakyushu (4th Term as Mayor)

Keynote Lecture

10:20~10:40

Trends of Initiatives in SDGs for Regional Revitalization

Shuzo Murakami

President, Institute for Building Environment and Energy Conservation (IBEC)



Academic Appointments/Experience:
2008-2012 Professor, Keio University (Graduate School of System Design and Management)
2006-2009 Advisory Professor, Tongji University
Jun. 2003- Professor, Keio University
2001-2008 Professor, Keio University
Oct. 1999-Nov. 1999 Visiting Professor, Technical University of Denmark
1985-2001 Professor, L.S., University of Tokyo Professional Society and Committee Affiliations:
President, Institute for Building Environment and Energy Conservation (Present occupation)
Apr. 2008-Mar. 2012 Chief Executive, Incorporated Administrative Agency Building Research Institute
Nov. 2005- Foreign Member, The Korean Academy of Science and Technology
Oct. 2005-Sep. 2011 Member, Science Council of Japan
Jun. 2005-May 2007 President, Architectural Institute of Japan
Mar. 2004-Dec. 2009 Chairperson, Environment Committee, Council for Infrastructure, Ministry of Land, Infrastructure and Transport
Jul. 2003- President, Institute of International Harmonization for Building and Housing
May 2002-Jul. 2010 Chairman, The Central Review Council for Kenchikushi
and other

SDGs FutureCity Sabae City's Aim to Become a "Global City for Eyeglasses"

Hyakuo Makino

Mayor of Sabae City



Born in 1941, Sabae City, Fukui Prefecture
-Director, Fukui Prefectural Government General Affairs Department
-Deputy Mayor, Obama City, Fukui Prefecture
-Member, Fukui Prefectural Assembly
-Mayor of Sabae (from 2004 up to the present)
Launched the following policies:
-Student-led town planning in the city with no collage
-Town planning focused on the citizens' participation and collaboration
-Town planning focused on the IT Industry and Open Data
With a strong will to change the country from our region, he has launched many new plans and activities such as, establishing a new division JK (Joshi Kokosei, female high school student) Division, Kawada Art Camp and Regional Development Plan Contest. Currently he is tackling on the policy to distribute our city's image as 'town of eyeglasses', domestically and globally.

Session I "Further Promotion of the SDGs for Regional Revitalization -Second stage: Towards Revitalizing Cities, People, and Careers"

10:50~12:20

Masato Shinagawa

Mayor of Koriyama City, Fukushima Prefecture

Panelists



1967 Graduated from Faculty of Law, the University of Tokyo
1967 Joined Ministry of Posts and Telecommunications
1993 Director-General, Tohoku Regional Bureau of Postal Services Administration Office
1996 Director-General, Postal Savings Bureau
1997 Director-General, Broadcasting Bureau
1999 Deputy Minister for Posts and Telecommunications in charge of International Affairs
2000 Visiting Professor, the University of Osaka
2003 Senior Executive Vice President, NTT DATA Corporation
2005 Professor Attached to IT Research Center, Hosei University
2009 Professor, Hosei University
2013 Assumed office as mayor of Koriyama City
2017 Re-elected as mayor of Koriyama City

Mahadi Che Ngah

Advisor for Planning to Mayor of Kuala Lumpur City Hall

Panelists



Mahadi Che Ngah is currently advisor for planning to Mayor of Kuala Lumpur City Hall (KLCH). His main tasks are to advise the Mayor in the preparation of new development plans for Kuala Lumpur city. He is also tasked to look into the preparation of Kuala Lumpur Smart City Blueprint and the implementation of Kuala Lumpur Low Carbon Society Blueprint 2030.

Prior to his appointment, he served as Executive Director (Planning) of KLCH from 2018 to 2019, Executive Director (Project and Implementation) from June 2017 to 2018. He was appointed as Chief Executive of Kampung Bharu Development Corporation under the Ministry of Federal Territories from 2015 to 2017. Earlier, he was the director of Urban Planning Department of KLCH from 2004 to 2014.

He is a Corporate Member of Malaysian Institute of Planners (MIP). He received Bachelor of Urban and Regional Planning from University of Technology Malaysia (1983) and Masters of Science in Urban Development from University of Strathclyde, Glasgow, United Kingdom in 1990.

Omar Siddique

Economic Affairs Officer, Sustainable Urban Development Section, Environment and Development Division, UN ESCAP

Panelists



Mr. Omar Siddique is an urbanist and development expert in formulating urban strategies and managing people-centred city development programmes with a geographic focus in Asia Pacific and Africa. His main areas of expertise are slum upgrading strategies, urban poverty assessment, municipal financing strategies, city-wide service delivery profiling, local climate change mitigation and adaptation planning, participatory planning for informal livelihoods promotion, programme management, and institutional strengthening for improved urban governance. Mr. Siddique joined the United Nations Economic and Social Commission for Asia Pacific (UN ESCAP) Sustainable Urban Development Section as Economic Affairs Officer in October 2017 and is currently coordinating UN ESCAP's regional follow up and review from Habitat III, supporting countries in the localization of the Sustainable Development Goals. Prior to joining UN ESCAP, Mr. Siddique worked for four years as Senior Urban Specialist in the Cities Alliance Secretariat in Brussels, Belgium. His portfolio included designing and implementing national slum upgrading, municipal finance and urban management technical assistance programmes in over 12 countries across Africa, Middle East and North Africa, Asia and Latin America. Prior to joining the Cities Alliance, Mr. Siddique worked for nine years at the United Nations Development Programme (UNDP) based in Sri Lanka, Thailand and New York. Mr. Siddique holds advanced degrees in Political Science and Geography from New York University, USA, and Monash University, Melbourne, Australia.

Stefano Marta

Coordinator, Territorial Approach to SDGs, OECD

Panelists



Stefano Marta works for the Cities, Urban Policies and Sustainable Development Division in the Centre for Entrepreneurship, SMEs, Regions and Cities at the OECD. Stefano is currently coordinating the Programme A Territorial Approach to Sustainable Development Goals, which support cities and regions in implementing the SDGs in various OECD and partner countries. Stefano also coordinated the OECD project on Reshaping Decentralised development cooperation. The role of cities and regions for the 2030 Agenda, developed in collaboration with the EC. He previously lead the initiative Adopting a Territorial Approach to Food Security and Nutrition Policy, jointly developed by the Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO), OECD and UNCDF. He also worked on various other projects, including on urban-rural linkages in Morocco and on territorial indicators in Tunisia. Prior to joining the OECD, Stefano worked at FAO on the territorial approach to food security and nutrition policy. In addition, he was part of the FAO Task Force for the formulation of the Sustainable Agriculture and Rural Development Strategy 2040 of Oman and he also participated in the FAO Al-Ghab Development Programme in Syria.

Session II "Promoting SDGs for Regional Revitalization Finance – Creating Autonomous Virtuous Cycles Through a Financial Framework"

14:00~15:30

Yutaka Ota

Vice-governor of Nagano Prefecture

Panelists



May 2004 Director General, Living Environment Department
Nov. 2005 Director, Planning Bureau
Nov. 2006 Director, Kiso Regional Office
Apr. 2009 Councilor and Manager, Construction Policy Division
Apr. 2011 Director General, Commerce, Industry and Labor Department
Apr. 2014 Director General, General Affairs Department
Feb. 2015 Assumed Office of Vice Governor of Nagano Prefecture
Feb. 2019 Reappointed Vice Governor of Nagano Prefecture

Shoichi Yumoto

President, The Hachijuni Bank

Panelists



Experience Record:
2013-Present President
2011-2013 Managing Director
2009-2011 Executive Officer and General Manager, Financial Market Department
2006-2008 General Manager, Financial Market Department
2004-2006 General Manager, Nagoya Branch
2002-2004 General Manager, Shimosuwa Branch
2000-2002 General Manager, Nakanonishi Branch

Education:
1990 Master of Business Administration, New York University
1980 Bachelor Degree in Economics, The University of Tokyo

Loic Dujardin

Managing Director, Japan Sustainalytics

Panelists



Over the past six years, Loic has been working with asset managers and pension funds in Singapore and in Japan on the integration of environmental, social and governance (ESG) factors in their investment decisions. He has also led Sustainalytics Asia Pacific research team and has contributed to the continued enhancement of Sustainalytics' overall responsible investment research offerings. As a former senior analyst at Norges Bank Investment Management (NBIM) and Amundi, Loic has a deep understanding of the ESG issues most important to investors in the Asian region. He is also an expert on water-related risks having successfully engaged on the issue with companies in the mining, utilities and food sectors in China and India. Loic represents Sustainalytics at conferences and speaks regularly on a variety of ESG and sustainable finance topics. Loic has a master's degree in International Finance from Sorbonne University in France and a bachelor's degree from Glasgow University, Scotland.

Emi Onozuka

Head of Stewardship Responsibility Group, Japan Goldman Sachs Asset Management

Panelists



Emi is the Head of Stewardship Responsibility Group in GSAM Japan and is responsible for ESG (Environment, Social and Governance) research and company engagement activities since 2016. Previously, she has held various roles in the distributions, infrastructure, and investment teams since she joined GSAM in 2000. Most recently, she was the Chief Operating Officer in Asia Pacific for GSAM portfolio management teams (Global Fixed Income and Liquid Management, Fundamental Equity and Quantitative Investment Strategies). Before joining Goldman Sachs, she was at JP Morgan since 1998 and received a B.A. from the Sophia University in 1997, majoring in International Business and Economics.